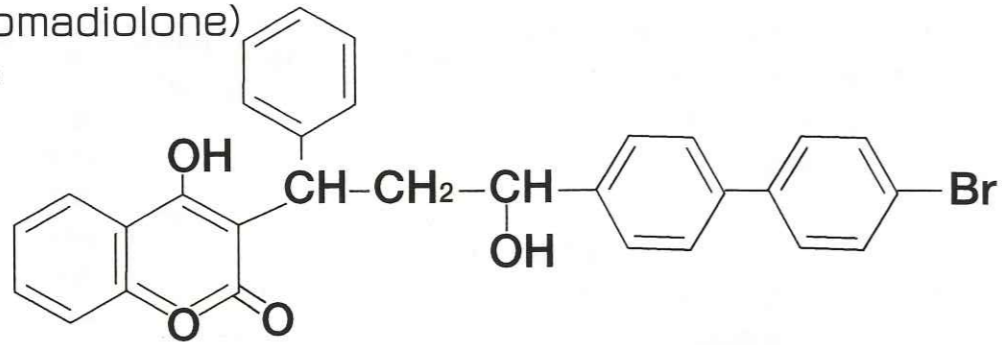
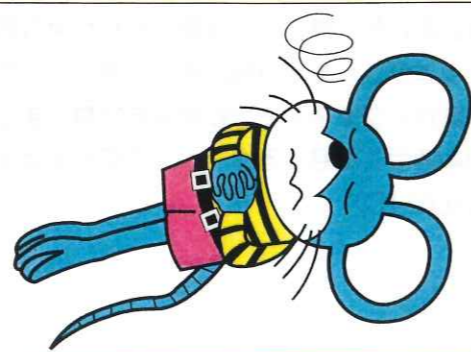


構造

- プロマジオロン (Bromadiolone)
- 分子量：C<sub>30</sub>H<sub>23</sub>BrO<sub>4</sub>



成分・分量	本品100g中にプロマジオロン0.005gを含有します。
効能・効果	畜・鶏舎内及び周辺のネズミの駆除
用法・用量	畜・鶏舎及びその周辺のネズミの出入りする物陰などに、トレイ等にのせ約10~30gを置く。喫食により無くなったら補給し、喫食しなくなるまで続ける。
使用上の注意	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 使用時には必ず手袋を着用し、使用後は石鹼で手を洗うこと。</li> <li>2. 家畜・家禽の飼料、飼料箱、飲水、飲水器等に薬剤を直接散布又は混入しないようにすること。</li> <li>3. 家畜・家禽が直接または間接的に摂取出来るところに使用しない。</li> <li>4. 食品、食器、飼料等と区別し、小児の手の届かないところに保管する。</li> <li>5. 使用後、残った薬剤は必ず保管場所に戻し、容器は封をしておくこと。</li> <li>6. 万一使用者が誤食した場合には、ただちに吐き出させ医師の診療を受けること。</li> <li>7. 万一家畜又はペットが誤食した場合には、ただちに獣医師の診療を受けること。</li> <li>8. 本剤設置後は放置せず、数日経過後も喫食が認められない場合は別の場所に移動する。</li> <li>9. 薬剤又は容器等を廃棄する場合は、焼却等適切に処分すること。</li> </ol>
解毒剤	ビタミンK



LANIRAT®



動物用医薬部外品 殺鼠剤

ラニラット®



フマキラー・トータルシステム株式会社

〒101-0038 東京都千代田区神田美倉町11番地 03(5297)8545

ciba

※®はスイス国チバガイギー・リミテッドの登録商標

# 3K

**危険**  
**汚い**  
**強暴**

# ネズミを一蹴！

## ネズミの被害

### 1. 飼料の損失

ネズミが家畜の飼料を食べることにより、かなりの飼料が失われます。

### 2. 齧害(咬害)

ネズミは、飼料袋や断熱材をかじるだけでなく、自動制御システム等、近代化の進んだ畜鶏舎における電気ケーブル等を切断してしまいます。そのため故障、火災の原因となります。

### 3. 飼料汚染

ネズミは家畜の飼料を食べる時に、脱糞及び排尿をします。家畜はこの汚れた飼料を食べることになります。

### 4. 鶏卵汚染

ネズミは鶏バラチフスの原因菌として現在問題となっているサルモネラ菌を伝搬する最も重要な動物です。

### 5. 病原体の伝搬

ネズミはサルモネラ菌だけでなく、各種病原体の媒介者となります。



## 特長

### 1. 新しい殺鼠剤！

有効成分であるプロマジオロンは、今までにない第二世代のクマリン系殺鼠剤です。

### 2. 抵抗性ネズミにも効果！

従来のワルファリン抵抗性ネズミにも優れた効果を発揮します。

### 3. 1～2回の喫食で有効！

従来のクマリン系殺鼠剤のように蓄積毒ではないため、1～2回の喫食で有効です。

### 4. 優れた喫食性！

ネズミの好むエサを配合していますので、優れた喫食性が得られます。

### 5. ネズミの警戒心なし！

喫食後2～3日後から自然死のように死亡し始めるため、ネズミに警戒心を与えることはありません。

### 6. 誤食防止剤配合！

誤って食べることをないように、赤色の着色及びトウガラシ粉を配合しています。

### 7. 有効な解毒剤！

万が一、誤って飲み込んででも、ビタミンKで解毒できます。

## 喫食性試験

プロマジオロンを含む毒餌と、含まない無毒餌を1～2日間併置し、野外から採取したドブネズミ、クマネズミ、及びddY系ハツカネズミにおけるラニラットの喫食性を調査しました。

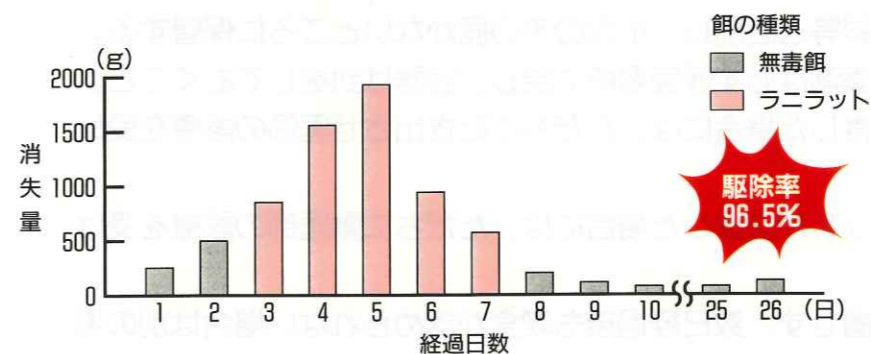
その結果、ドブネズミ、クマネズミ及びハツカネズミにおいて、プロマジオロンを含んだ餌と含まない餌とでは差がなく、喫食性に問題はありませんでした。(日本環境衛生センター)

供試動物	供試数	平均体重 (g)	餌	平均喫食量 (g)	摂取薬量 (mg/kg)	平均致死日数
ドブネズミ	♂5 ♀5	232	毒餌	10.3	2.3	6.4
			無毒餌	0.3	—	—
クマネズミ	♂5 ♀5	185	毒餌	8.4	2.3	6.1
			無毒餌	3.9	—	—
ハツカネズミ	♂5 ♀5	31	毒餌	3.7	6.0	6.3
			無毒餌	6.0	—	—

## 野外効力試験

### ■ 鶏舎

神奈川県下の養鶏場において、ラニラットの野外効力試験を実施しました。無毒餌を2日間設置して餌に慣らした後、ラニラットを5日間設置し、再び無毒餌を19日間設置して、餌の消失量からドブネズミの駆除率を算出しました。その結果、ラニラットの本鶏舎に生息するドブネズミ駆除率は96.5%でした。(日本環境衛生センター)



### ■ 豚舎

群馬県下の養豚場において、鶏舎における試験と同様の野外効力試験を実施しました。最初に3日間にわたり無毒餌を設置して餌に慣らした後、ラニラットを5日間設置し、再び3日間無毒餌を設置して、餌の消失量からクマネズミの駆除率を計算しました。その結果、ラニラットの本豚舎に生息するクマネズミ駆除率は90.5%でした。(株式会社AHC)

